

事業所名

杪の杜 もくの木ふたばえん

支援プログラム

作成日

令和8 年

3 月

10 日

法人（事業所）理念		私たちは従業員並びに利用者へ選択できる機会を、感謝の気持ちを持てるような人生の一旦を支えていきます(法人) 明るく楽しい未来のために選択肢の幅が広がるように(事業所)					
支援方針		子ども一人ひとりの個性や特性を大切に、「できない」が「できた」へとつながる小さな成長を、子どもと一緒に喜び合える場づくりを大切にしています。安心して過ごせる環境を整え、見通しや選択肢をわかりやすく示すことで、子どもが自分のペースで挑戦できるよう支援します。子どもの特性理解に基づき、環境調整・視覚的支援・構造化などの専門的な支援方法を取り入れ、活動への参加しやすさを高めます。また、気持ちの表現や意思決定の機会を大切に、「自分で選ぶ」「自分で決める」経験を積み重ねられるように支えます。学校やご家庭との連携を通して、生活全体の一貫性を保ちながら、自立に向けた生活スキルや社会性の育ちを丁寧に支えていきます。職員は日々の記録と振り返りを大切に、子どもの変化を見逃さず、よりよい支援につなげていきます。					
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人 支援	健康・生活	◇安定した生活リズムと情緒の安定を図る。◇身近自立の力を段階的に伸ばすようにしていく。 動作の見通し提示し環境調整・感情の言語化の支援をする。◇クールダウンスペースの活用する。 を用意して活動前後のルーティンがついていけるようにする。 も感じ取り、安心できるように座席の配置していくよう配慮していく。					◇生活 ◇手順カード ◇気持ちの温度計
	運動・感覚	◇身体調整力や感覚の安定を図る。◇活動への参加しやすさを高めるため、感覚刺激の調整、粗大運動・微細運動の経験を取り入れる。 を使った遊びとしては跳び箱、マット、平均台、トランポリン、手先の作業としてはピンセットで小さい物を挟む・折り紙等という指先を使うなどし、感覚過敏へ環境配慮しながら支援をする。					◇身体
	認知・行動	◇見通しを持って行動できる力を育む。◇成功体験を積み重ねられるようスケジュール提示する。 ◇選択肢の提示していき、構造化・合理的配慮をしていき個別スケジュールと選べる活動メニューを用意する。 ◇視覚的手順書（絵カード利用）も明確にして、トラブル時の対応も個々が理解し受け入れられていけるよう配慮する。					
	言語 コミュニケーション	◇自分の気持ちや考えを伝えて相手の意図を理解する力を育てられるよう絵カードを使い伝えていくようにする。 ◇気持ちの表現の仕方を支援してコミュニケーションツールをどう活用させていくかも考慮に入れる。 の練習では絵カード・気持ちの表現ボード・ロールプレイを活用して困ったときの伝え方練習をしていけるようにする。					◇対話
	人間関係 社会性	◇他者との関わりを楽しみ、役割を持って活動に参加する力を育てていく。 活動、役割体験、地域とのつながるなどし自己決定の練習をしていけるよう協力ゲーム、当番活動、買い物学習、地域イベントへの参加という形で支援する。					◇集団
家族支援		学校・家庭との連携を図り、生活全体の一貫性を保ちながら、自立に向けた生活スキルや社会性の育成を目指します。また、子どもの意思決定を尊重し、自分で選び、自分で決める経験を大切にします。			移行支援		本人および保護者の意向を大切にしながら、学校や関係機関と連携し、将来の進学や就労・地域生活への移行を見据えた支援を行います。日常生活や社会生活に必要な力の育成を図り、次のステージへの円滑な移行につなげていく。
地域支援・地域連携		地域の方々や身近な施設とのつながりを大切に、子どもが無理なく社会と関わる経験を積めるよう、段階的な支援を行います。買い物学習や地域行事への参加など、日常の中で自然に社会と触れ合う機会をつくり、役割を持って参加する喜びや、人との関わり心地よさを感じられるように支えます。			職員の質の向上		障害特性理解・合理的配慮・虐待防止・医療的ケア等の研修を計画的に実施子ども特性に応じた支援方法を共有し、記録の透明性と振り返りの徹底を図っていく。外部研修や専門職との連携による支援の質向上を実施していきます。
主な行事等		誕生会・動物園遠足・道の駅探索・公園活動・社会体験（買い物など）・季節の行事（夏祭り・クリスマス会等）					